

平成 22 年 12 月 15 日

帯広市
オッズパーク・ばんえい・マネジメント株式会社

帯広市とオッズパーク・ばんえい・マネジメントが 平成 23 年度「ばんえい十勝」の継続に向け大枠合意

北海道帯広市（市長：米沢 則寿、以下 帯広市）は、平成 23 年度のばんえい競馬「ばんえい十勝」を継続開催するため、ソフトバンクグループのオッズパーク・ばんえい・マネジメント株式会社（所在地：北海道帯広市、代表取締役社長：新名 貴之、以下 OPBM）と、引き続き帯広競馬場および場外発売所における「ばんえい十勝」の勝馬投票券の発売等を委託することについて大枠の合意をいたしました。

平成 22 年度「ばんえい十勝」では、帯広競馬場を所有する十勝農業協同組合連合会をはじめ、支援企業、市民ボランティア、ばんえい競馬馬主協会や調教師、騎手など多くの競馬関係者、そしてばんえい競馬ファンの皆様からご協力いただき、「全員参加型」の体制で各種施策に取り組んでおります。

平成 22 年 8 月には、飲食・スイーツ・産直など十勝の物産を満喫できる複合施設「とちちむら」がオープンしました。また「ふわふわランド」「ばん馬まつり」「ゆるキャラ選手権」「クラツウィーク」「オール十勝まんぷくフェスタ 2010」など地元企業、帯広商工会議所、旅行代理店、各 J A とタイアップしたイベントや、JRA 騎手の皆様のご協力による「JRA ジョッキーデー」などを開催してまいりました。

また、勝馬投票券の発売拡大・「ばんえい十勝」の認知向上を図るため、大井、川崎、船橋、名古屋、笠松などの各競馬場、および札幌ドームや新宿タカシマヤなどにおいてイベントを実施し、道内外における帯広十勝の PR 活動を行ってまいりました。

これにより、帯広競馬場入場者数は、平成 22 年度第 17 回開催終了時点で、181,187 人（対前年同期比 124.85%）と多くのお客様にご来場いただき、馬文化の発信基地・地域の観光スポットとして定着しております。

一方で、売得額は、平成 22 年度第 17 回開催終了時点で、6,502,110,100 円（対前年比 97.88%、対予算比 94.76%）となっております。

「北海道遺産」としての馬文化発信基地、さらに帯広十勝の観光資源としての価値も踏まえ、「ばんえい十勝」の長期安定的な存続とさらなる発展を可能にいくため、「全員参加型」の運営ができるよう具体的な仕組みづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

以上

<本件に関する報道関係者のお問い合わせ先>

【帯広市】 ばんえい振興室
【OPBM】 社長室・お客様サービス部

電話：帯広競馬場 0155-34-0825(代表)
[ばんえい十勝公式ホームページ] <http://www.banei-keiba.or.jp/>